

養
老

新
能

9月 20日 土

平成26年 開場/17:00 開演/18:00

場所/養老公園入口駐車場 特設舞台 ※演能中に雨が降った場合は終演とします。

雨天時/養老町民会館

※会場変更の場合は、当日の15時までに決定します。ただし、入場には整理券が必要となります。

■清水(しみず)

流行の茶会に出す清水(=湧き水)を汲んでくるよう命じられた召使いは、気が進まないことから、清水に鬼が出て襲われたと嘘つき、秘蔵の手桶も捨ててきたと言い訳をします。主人が自ら取り返しに行くというので、慌てた召使いは一計を案じて…。些細な嘘に嘘を重ねると、といった教訓も盛り込んだ作品で、小学校4年採用の国語教科書にも取り上げられていた作品です。

■養老(ようろう)一番目物

【あらすじ】

頃は初夏、美濃國(岐阜県)本巣の郡に靈水が湧き出るという報告があったので、雄略天皇の勅命を受けて、勅使が下向します。一行が養老の滝のほとりに着くと、老人と若者の二人の樵夫が、来かかります。勅使は、これこそ話に聞く養老の親子であろうと思って尋ねると、果たしてそうでした。老人は、問われるままに、養老の滝と名づけられたいわれを物語ります。ついで老人は、勅使をその滝壺に案内し、靈泉をほめ、更に他の靈水の例を挙げつつ、この滝の水の徳をたたえます。すべてを見聞いた勅使は、感涙を流し、この由を奏聞しようと帰洛しかけると、にわかに天から光がさし、花が降り、音楽が聞こえ、ただならぬ様子となります。〈中入〉そこへ、所の者が出て養老の滝のいわれを語り、滝の水を飲んで、若返りの様を見せます。ついで、養老の山神が出現し、清らかな水をたたえ、神仏はもとより同体であり、共に衆生を救おうとの御誓願であって、時として神と現じ仏と現れ給うのであると述べます。そして峰の嵐や谷川の音を音楽として舞を奏し、泰平の世を祝福して、神の国へと帰ってゆきます。

【みどころ】

聖代の奇跡を寿ぐのが主題です。本来の脇能の約束である神社の縁起を説くのではなく、靈泉の物語を脚色したもので、面白く見せようとする工夫がなされています。異色ではありますが、作者世阿弥としては、相当自信があったようです。後世になると、養老の滝は、孝行の徳で酒になったという点が強調されますが、能では「仙家の薬の水もかくやと思」われる不思議な水だとし、親孝行を押しつけるような教訓的なところはありません。

現行の演出では、前シテとツレが中入をすると、入れ替りに間狂言が里の男の役で登場します。(シテだけ中入してツレの残る場合もあります)アイはワキとの交渉ではなく、独自の形で演ぜられます。(このアイが、養老の山神に仕える末社の神の場合もあります。またアイが登場しない演出もあります)アイが退場したあと、後シテが颯爽と登場し、〈神舞〉をまうことになっています。この演出では、前シテが後シテの化身であるように見えます。古くは、親子の者が実在の人物として、ワキの勅使と共にそのまま舞台に残り、別の役者が山神の役で出たのではないかと考えられます。本文の書き方から見て、その方が自然です。アイやツレの扱い方の混乱も後世の改修の不徹底さの表れです。後シテは「高砂」や「弓矢幡」のようにもと老体であったと思われます。位の高い神でなく、名も無い荒々しい山神ですから、同じ〈神舞〉でも野趣のあるキビキビしたものになります。

【備考】

靈泉出現によって、靈龜3年11月、「養老」と改元されました。717年のことです。

■演目 狂言「清水」

シテ(太郎冠者)

シテ(主人)

井上松次郎

佐藤 融

能「養老」水波之伝

シテ(前・樵翁、後・山神)

久田 勘鷗

ツレ(樵夫)

久田勘吉郎

ツレ(天女)

久田三津子

ワキ(勅使)

高安 勝久

他



久田勘鷗(ひさだかんおう)
シテ方觀世流能樂師
一般社団法人 日本能樂会 会員
重要無形文化財総合指定保持者
公益社団法人 能樂協会 名古屋支部副支部長

■観覧席(整理券)の申し込み方法

下記の申込書に必要事項を記入のうえ、養老町役場・企画政策課又は養老町中央公民館、養老町各自治会館等に提出してください。

ハガキ、FAX、Emailでの申し込みも可能です。

その際は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望席数(1人5席まで)などを必ずご記入ください。

※申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。後日、整理券を郵送します。

■申し込み期限 8月29日(金)まで

■問い合わせ先 養老町役場 企画政策課・養老改元1300推進室
〒503-1392 養老郡養老町高田798 ☎:0584-32-5089 FAX:0584-32-2686
Email : 02seisaku@town.yoro.gifu.jp

養老町制施行60周年記念「養老新能」

観覧席(整理券)申込書

FAX 0584-32-2686

※ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、本事業運営のためにのみ使用します。

ご氏名(代表者)		様	希望席数 (※1人5席まで)	席
ご 住 所	(〒 - - -)			
ご 連 絡 先	電話番号(自宅・携帯)			
来 場 方 法	1. 車 2. シャトルバス ※乗降場所を選び○で囲んでください。 乗降場所 (養老町役場・養老自治会館・広幅自治会館・上多度自治会館・池辺自治会館・笠郷自治会館・ 小畑自治会館・多芸自治会館・福祉センター・日吉自治会館・室原自治会館) 3. その他 ()			
※該当する箇所を ○で囲んでください。				

入場無料
観覧席

(500席)
全席自由席

事前申込が必要です

ただし
立ち見は可能です

※シャトルバスは、養老町役場及び各自治会館等を乗降場所とする予定です。シャトルバスの乗車時刻等は、後日連絡します。